※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | 3015 |
|---|---|

# 令和４年度 外国語科

| 教科 | 科目 | 単位数 | 指導学年 | 教材名・副教材名 |
|---|---|---|---|---|
| 外国語 | JET | 2 | 1 | Cambridge Experience 1 |

## 1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

JET は泉北高校独自の科目で、英語の 4 技能を総合的に伸ばす活動を授業で行います。ネイティブの先生とオールイングリッシュの授業を通して、聴く力、話す力を鍛えます。教科書の内容から幅広い分野の知識を広め、発表や即興のやりとりが毎時間あります。日常での使用頻度が高い語彙も身につけますので、毎時間単語のクイズを行います。本授業において、担当者は英語を教えるという概念ではなく、英語を使って異文化や世界の検知、グローバルな問題などを考えるための知識を共有するという立場です。ですので、授業では主体的に参加し、自己表現する努力を怠らず、何よりたくさん考える機会を自ら作ってください。英語で物事を考えることができれば、世界市民の仲間入りです。

## 2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第1学年】

| 領域 | 聞くこと | 読むこと | 話すこと（やり取り） | 話すこと（発表） | 書くこと |
|---|---|---|---|---|---|
| 学習到達目標 | ・日常的なあいさつや簡単な指示を理解することができる。<br>・日常的に必要なことがらについて、内容を聞き取ることができる。<br>・ゆっくりはっきりと話されれば、世界に関する基本的な短い会話や説明を聞き、挿絵や写真などを参考にしながら理解することができる。 | ・日常生活で使われる英語の中の語句や簡単な文章を理解することができる。<br>・基本的な語句や表現で書かれたごく短い物語を読み、挿絵や写真を参考にしながらあらすじを理解することができる。<br>・世界の事柄について簡単な英語で書かれたごく短い説明を読み、挿絵や写真を参考にしながら概要を理解することができる。 | ・相手の話す内容を理解できない場合に、必要に応じて、聞き返したり意味を確認したりすることができる。<br>・相手のサポート（ゆっくり話したり、繰り返したり、簡単な語句に言い換えるなど）があれば、基本的な異文化やグローバルなトピックについて、簡単な語句や表現を使って質疑応答をすることができる。 | ・簡単な語句や文を用いて、自分のことを紹介できる。<br>・日常生活で必要な基本的な情報を他者に伝えることができる。<br>・世界的な事象に関する基本的なトピックや出来事について、事実、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて短く話すことができる。 | ・自分のことや異文化や世界への好奇心などの簡単な紹介文を書くことができる。<br><br>・簡単な語や基礎的な表現を使いながら、and、but、because などで文と文をつないで、日記や説明文などまとまりのある文章を書くことができる |

## 3 学習評価(評価の観点と実施方法)

| 観点 | a 知識・技能 | b 思考・判断・表現 | c 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。 | ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。 | ・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。<br>学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | |

※令和４年度以降入学生用

4 学習の活動

| 学期 | 課<br>“題材名” | 領域 | 評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|
| | UNIT１<br>Behavior<br><br>UNIT2<br>Ways of Learning<br><br>Optional<br>Hard Times,<br>Charles Dickens | 聞くこと | a: 本課で学習する文法や新語の意味の理解を基に，英文の内容を聞き取る技能を身に付けている．<br>b:. クラスメートの日頃気に留めない態度や習慣、学習方法について英語での発表を理解することができる。<br>c: クラスメートの発表をよく聞き、フィードバックシートを書くことができる。自らの発表について自己評価と客観評価について分析することができる。 | 定期考査<br>（リスニング） |
| | | 読むこと | a: 本課で学習する文法や新語の意味の理解を基に，英文の内容を読み取る技能を身に付けている．<br>b: 単元目標の活動をおこなうために，態度や学習方法についての記述を理解し、文学表現も読解できる。<br>c: ディケンズの小説について語彙を率先して調べることができる。 | 定期考査<br>（リーディング） |
| | | 話すこと<br>(やり取り) | a:態度や学習方法についての内容を整理し，本課で学習した新語などを用いて話す技能を身に付けている．<br>b: 日頃気に留めない態度や習慣、学習方法について英語で発表することができる。<br>c: クラスメートの発表に対してフィードバックシートを書くことができる。自らの発表について自己評価と客観評価について分析することができる。 | パフォーマンステスト |
| | | 書くこと | a: 学習した情報を整理し，本課で学習した新語などを用いて書く技能を身に付けている．<br>b: クラスメートの日頃気に留めない態度や習慣、学習方法について英語での発表原稿を書くことができる。他の生徒の発表に対し、英語で質問を考えることができる。<br>c: クラスメートの発表に対してフィードバックシートを書くことができる。自らの発表について自己評価と客観評価について分析することができる。 | 定期考査<br>（ライティング） |
| | 中間考査 | | | |
| | UNIT3<br>Technology<br><br>UNIT4<br>Appearance<br><br>Optional<br>A Journey to the Western Islands of Scotland,<br>Samuel Johnson | 聞くこと | a: 本課で学習する文法や新語の意味の理解を基に，英文の内容を聞き取る技能を身に付けている．<br>b:クラスメートの科学技術の発展や容姿などをテーマにした英語での発表を理解することができる。<br>c: クラスメートの発表をよく聞き、フィードバックシートを書くことができる。自らの発表について自己評価と客観評価について分析することができる。 | 定期考査<br>（リスニング） |
| | | 読むこと | a: 本課で学習する文法や新語の意味の理解を基に，英文の内容を読み取る技能を身に付けている．<br>b: 単元目標の活動をおこなうために，:科学技術の発展や容姿などをテーマにした記述を理解し、文学表現も読解できる。<br>c: サミュエル･ジョンソンの小説について語彙を率先して調べることができる。 | 定期考査<br>（リーディング） |
| | | 話すこと<br>(発表) | a: 科学技術の発展や容姿など、単元で学習した内容を整理し，本課で学習した新語などを用いて話す技能を身に付けている．<br>b:科学技術の発展や容姿などをテーマにした英語での発表をすることができる。<br>c: クラスメートの発表に対してフィードバックシートを書くことができる。自らの発表について自己評価と客観評価について分析することができる。 | スピーキングテスト |
| | | 書くこと | a: 学習した情報を整理し，本課で学習した新語などを用いて書く技能を身に付けている．<br>b: クラスメートの科学技術の発展や容姿などをテーマにした英語での発表原稿を書くことができる。他の生徒の発表に対し、英語で質問を考えることができる。<br>c: クラスメートの発表に対してフィードバックシートを書くことができる。自らの発表について自己評価と客観評価について分析することができる。 | 定期考査<br>（ライティング） |
| | 期末考査 | | | |
| | UNIT5<br>Work<br><br>UNIT6<br>Health | 聞くこと | a: 本課で学習する文法や新語の意味の理解を基に，英文の内容を聞き取る技能を身に付けている．<br>b:クラスメートの職業観や健康などをテーマにした英語での発表を理解することができる。<br>c: クラスメートの発表をよく聞き、フィードバックシートを書くことができる。自らの発表について自己評価と客観評価について分析することができる。 | 定期考査<br>（リスニング） |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | Optional Jude the Obscure, Thomas Hardy | 読むこと | a: 本課で学習する文法や新語の意味の理解を基に，英文の内容を読み取る技能を身に付けている．<br>b: 単元目標の活動をおこなうために，職業観や健康などをテーマにした記述を理解し、文学表現も読解できる。<br>c: トーマス・ハーディの小説について語彙を率先して調べることができる。 | 定期考査<br>（リーディング） |
| | | 話すこと<br>（発表） | a: 職業観や健康など、単元で学習した内容を整理し，本課で学習した新語などを用いて話す技能を身に付けている．<br>b: 職業観や健康などをテーマにした英語での発表をすることができる。<br>c: クラスメートの発表に対してフィードバックシートを書くことができる。自らの発表について自己評価と客観評価について分析することができる。 | スピーキングテスト |
| | | 書くこと | a: 学習した情報を整理し，本課で学習した新語などを用いて書く技能を身に付けている．<br>b: クラスメートの職業観や健康などをテーマにした英語での発表原稿を書くことができる。他の生徒の発表に対し、英語で質問を考えることができる。<br>c: クラスメートの発表に対してフィードバックシートを書くことができる。自らの発表について自己評価と客観評価について分析することができる。 | 定期考査<br>（ライティング） |
| | 中間考査 | | | |
| | UNIT7 Happiness<br><br>UNIT8 Home<br><br>Optional Pride and Prejudice, Jane Austen | 聞くこと | a: 本課で学習する文法や新語の意味の理解を基に，英文の内容を聞き取る技能を身に付けている．<br>b:クラスメートの幸福感や不安感、居住空間や理想の家などをテーマにした英語での発表を理解することができる。<br>c: クラスメートの発表をよく聞き、フィードバックシートを書くことができる。自らの発表について自己評価と客観評価について分析することができる。 | 定期考査<br>（リスニング） |
| | | 読むこと | a: 本課で学習する文法や新語の意味の理解を基に，英文の内容を読み取る技能を身に付けている．<br>b: 単元目標の活動をおこなうために，幸福感や不安感、居住空間や理想の家などをテーマにした記述を理解し、文学表現も読解できる。<br>c: ジェーン・オースティンの小説について語彙を率先して調べることができる。 | 定期考査<br>（リーディング） |
| | | 話すこと | a: 幸福感や不安感、居住空間や理想の家など、単元で学習した内容を整理し，本課で学習した新語などを用いて話す技能を身に付けている．<br>b: 幸福感や不安感、居住空間や理想の家などをテーマにした英語での発表をすることができる。<br>c: クラスメートの発表に対してフィードバックシートを書くことができる。自らの発表について自己評価と客観評価について分析することができる。 | スピーキングテスト |
| | | 書くこと | a: 学習した情報を整理し，本課で学習した新語などを用いて書く技能を身に付けている．<br>b: クラスメートの幸福感や不安感、居住空間や理想の家などをテーマにした英語での発表原稿を書くことができる。他の生徒の発表に対し、英語で質問を考えることができる。<br>c: クラスメートの発表に対してフィードバックシートを書くことができる。自らの発表について自己評価と客観評価について分析することができる。 | 定期考査<br>（ライティング） |
| | 期末考査 | | | |
| | UNIT9 Travel<br><br>UNIT10 Free time<br><br>Optional The Adventure of the Priory School, Arthur Conan Doyle | 聞くこと | a: 本課で学習する文法や新語の意味の理解を基に，英文の内容を聞き取る技能を身に付けている．<br>b:クラスメートの旅行や観光、理想の余暇の過ごし方などをテーマにした英語での発表を理解することができる。<br>c: クラスメートの発表をよく聞き、フィードバックシートを書くことができる。自らの発表について自己評価と客観評価について分析することができる。 | 定期考査<br>（リスニング） |
| | | 読むこと | a: 本課で学習する文法や新語の意味の理解を基に，英文の内容を読み取る技能を身に付けている．<br>b: 単元目標の活動をおこなうために，旅行や観光、理想の余暇の過ごし方などをテーマにした記述を理解し、文学表現も読解できる。<br>c: アーサー・コナン・ドイルの小説について語彙を率先して調べることができる。 | 定期考査<br>（リーディング） |
| | | 話すこと | a: 旅行や観光、理想の余暇の過ごし方など、単元で学習した内容を整理し，本課で学習した新語などを用いて話す技能を身に付けている．<br>b: 旅行や観光、理想の余暇の過ごし方などをテーマにした英語での発表をすることができる。<br>c: クラスメートの発表に対してフィードバックシートを書くことができる。自らの発表について自己評価と客観評価について分析することができる。 | スピーキングテスト |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 書くこと | a: 学習した情報を整理し，本課で学習した新語などを用いて書く技能を身に付けている．<br>b: クラスメートの旅行や観光、理想の余暇の過ごし方などをテーマにした英語での発表原稿を書くことができる。他の生徒の発表に対し、英語で質問を考えることができる。<br>c: クラスメートの発表に対してフィードバックシートを書くことができる。自らの発表について自己評価と客観評価について分析することができる。 | 定期考査<br>（ライティング） |
| | 学年末考査 | | | |

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度